

京都南丹「かやぶきの里」散策と「芦生の森トレッキング」に行きました

北辰会 26 期：小池貞男

2015 年 10 月 28 日～29 日、北辰会 24 期～26 期の有志で、京都南丹市の“かやぶきの里”および京北“常照皇寺”の散策と「芦生の森 ネイチャートレッキング」を楽しんで来ました。

常照皇寺では菊の御紋に守られた 650 年の歴史の中の静寂を感じ、かやぶきの里では国の重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観の中に身を置き、日本の原風景を楽しみました。宿泊には 180 年前に建てられたかやぶき古民家を選び、地元特産鍋を肴に飲み、朝霧の中のかやぶき群を楽しみました。

待望の芦生の森トレッキングでは、ブナやトチの巨木がある由良川の源流域を歩き、手つかずの天然林の中での森の再生や、動物、昆虫などの生態系の豊かさを体感しました。紅葉が進む森の中では直径 1m 程の巨木が何本も根本から倒れており、微生物により 5 年で土に帰り森が再生するとの事でした。

2 日間でしたが京都の自然の中に身を置き、今後も人生を元気に楽しもうと話して家路につきました。



かやぶきの里（地井地区）



かやぶきの里



民宿とみ屋に宿泊



常照皇寺山門



常照皇寺境内



常照皇寺境内



山門から勅使門への参道



常照皇寺山門にて



常照皇寺勅使門



芦生の森



巨大なブナの倒木が多く見られる



自然の森の再生を聞く



ガイドの説明を聞く参加者



上谷の大トチの木の前で



トチの巨木



由良川の最初の1滴が湧く源流



由良川の源流



杉尾峠(765m)を越えた



杉尾峠から小浜方面を望む